

2. 防災指針の検討について

防災指針とは…

居住や都市機能の誘導を図る上で必要となる**都市の防災に関する機能の確保を図るための指針**であり、指針に基づく**具体的な取組**と併せて立地適正化計画に定めるもの

防災指針の記載内容（都市計画運用指針より）

■ 計画期間

- ・原則として立地適正化計画の計画期間と整合させる

■ 対象区域

- ・基本的に居住誘導区域内を対象とし、災害リスク分析の結果を踏まえて定める

■ 取組の実施手順

- ・目標年次に至るまでの段階的な目標を定める

（短期：～5年、中期：～10年、長期：～20年）

■ 具体的な取組内容

- ・想定される災害の種別毎に災害リスクを踏まえた検討を行った上で位置付ける

①計画期間

- ・久万高原町立地適正化計画及び都市計画マスタープランの計画期間である20年間

②対象区域

- ・基本的に居住誘導区域内を対象とするが、誘導区域に災害ハザードエリアが隣接する箇所もあることから、居住誘導区域の周辺（およそ用途地域の範囲）も含めて具体的な取組の検討を行う

③分析手法

- ・災害ハザード情報と人口分布や指定避難所等の都市情報とを掛け合わせ、災害発生により想定されるリスクを確認

■対象とする災害ハザードの種類

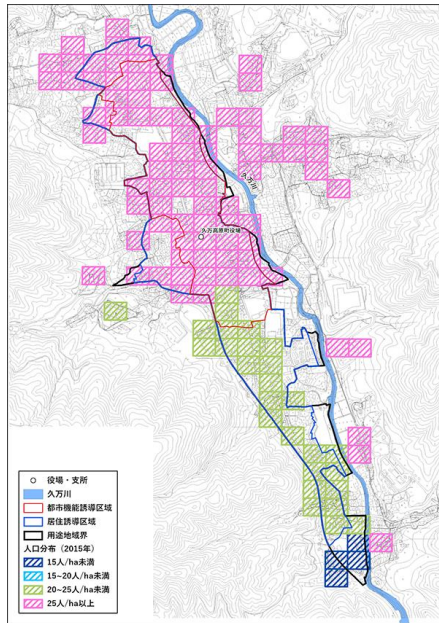
・久万高原町の防災指針で対象とする災害の種類は以下のとおり

災害種別	災害名称	誘導区域内への 指定等の有無	備考
土砂災害	土砂災害警戒区域	○	
	土砂災害特別警戒区域	×	
	地すべり防止区域	×	用途地域周辺にあり
河川浸水	浸水想定区域 ・久万川	×	浸水深（計画規模・ 想定最大 ） 浸水継続時間 家屋倒壊等氾濫想定区域
地震	震度分布	○	
	液状化危険度	○	
ため池	ため池浸水想定区域 ・野尻池・久万池 ・馬頭池	○	最大浸水深 最大歩行困難度 洪水到達時間

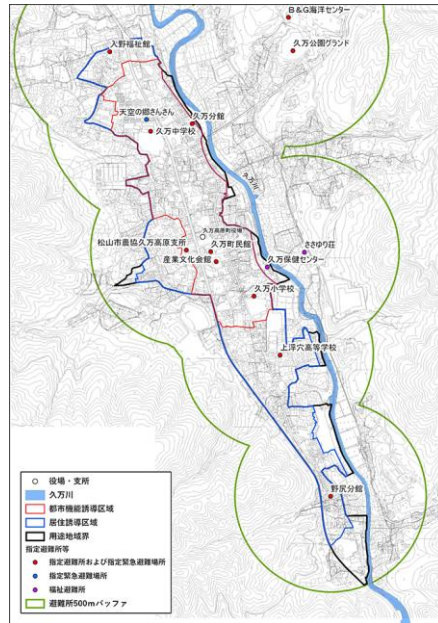
■災害ハザードに掛け合わせる都市情報

・災害ハザードと掛け合わせる都市情報は以下のとおり

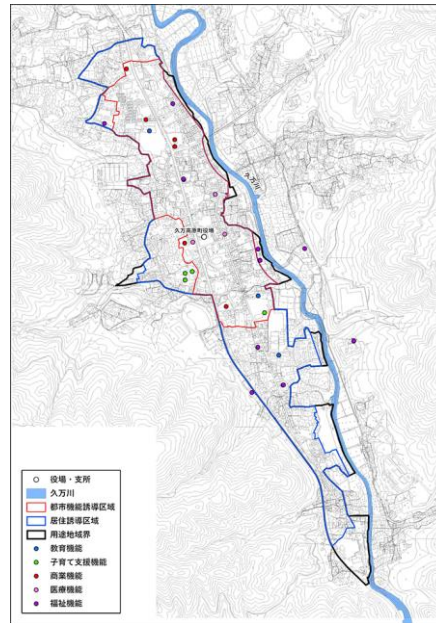
①人口分布



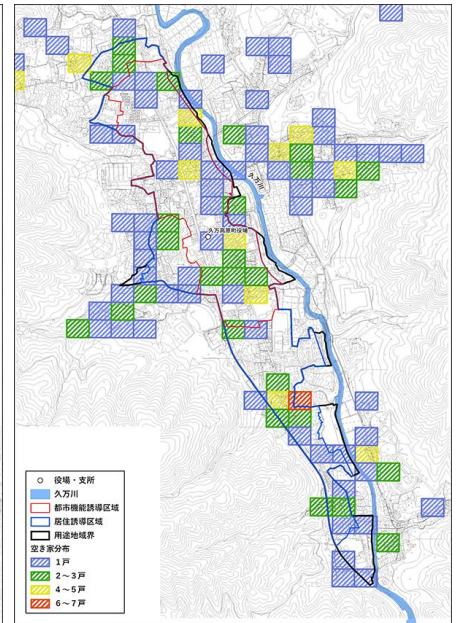
②指定避難所等分布



③都市機能分布



④空き家分布

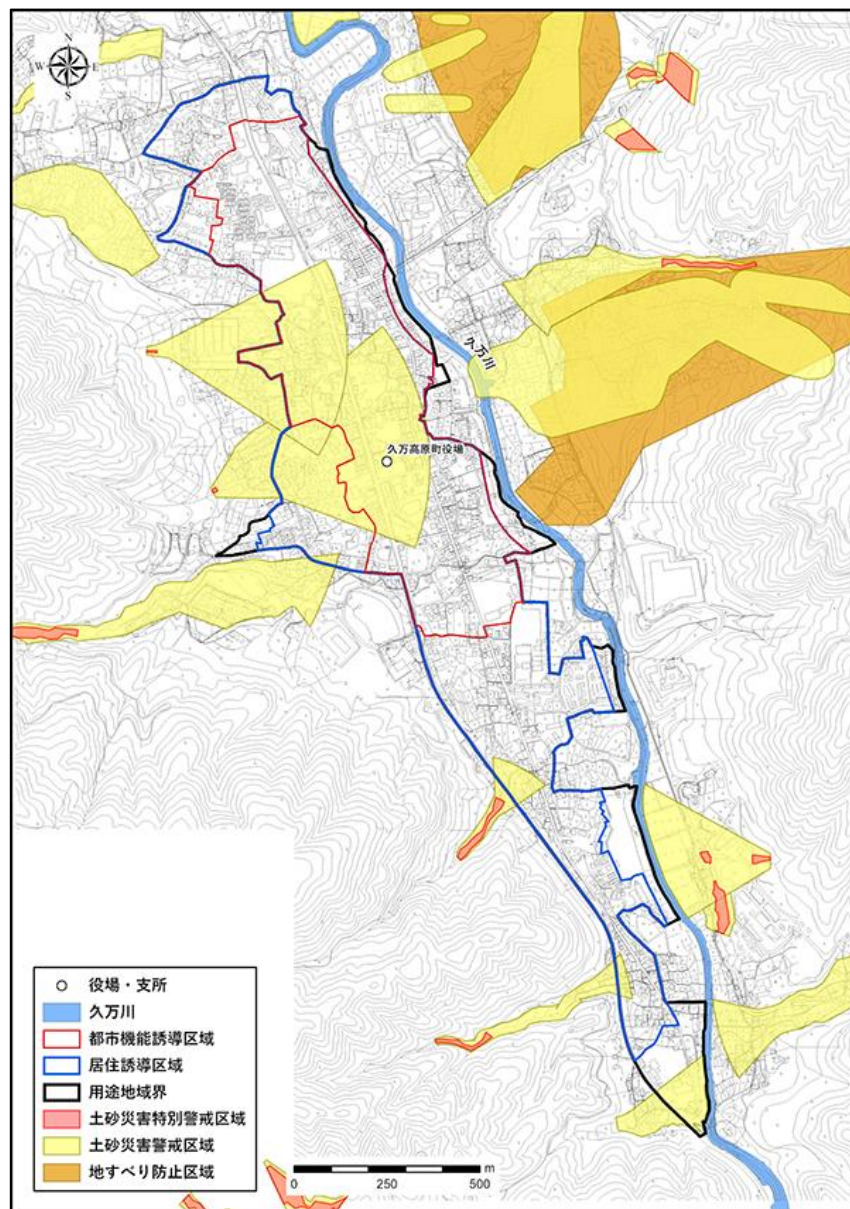


名称	備考
①人口分布（100mメッシュ）	平成27年（2015年）
②指定避難所等分布	指定避難所、指定緊急避難場所（令和2年現在）
③都市機能分布	医療機能、福祉機能、商業機能、子育て支援機能、教育機能（令和2年現在）
④空き家分布（100mメッシュ）	平成29年度調査結果

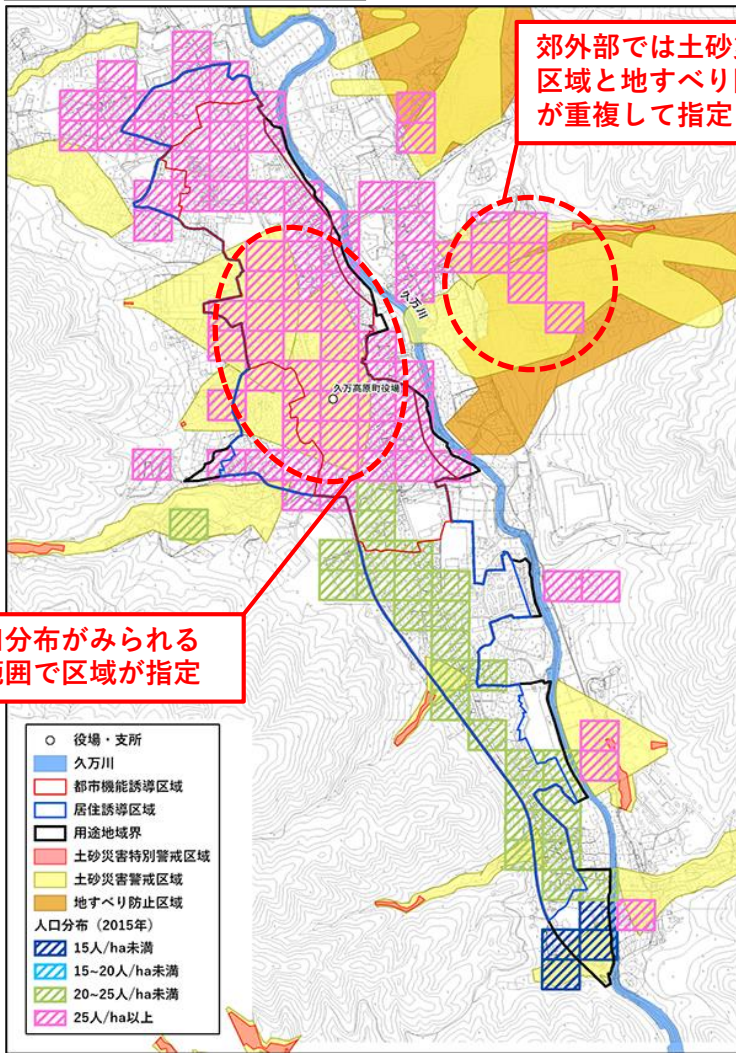
災害種別	災害名称	誘導区域内への指定等の有無
土砂災害	土砂災害警戒区域	○
	土砂災害特別警戒区域	×
	地すべり防止区域	×

【災害の特徴】

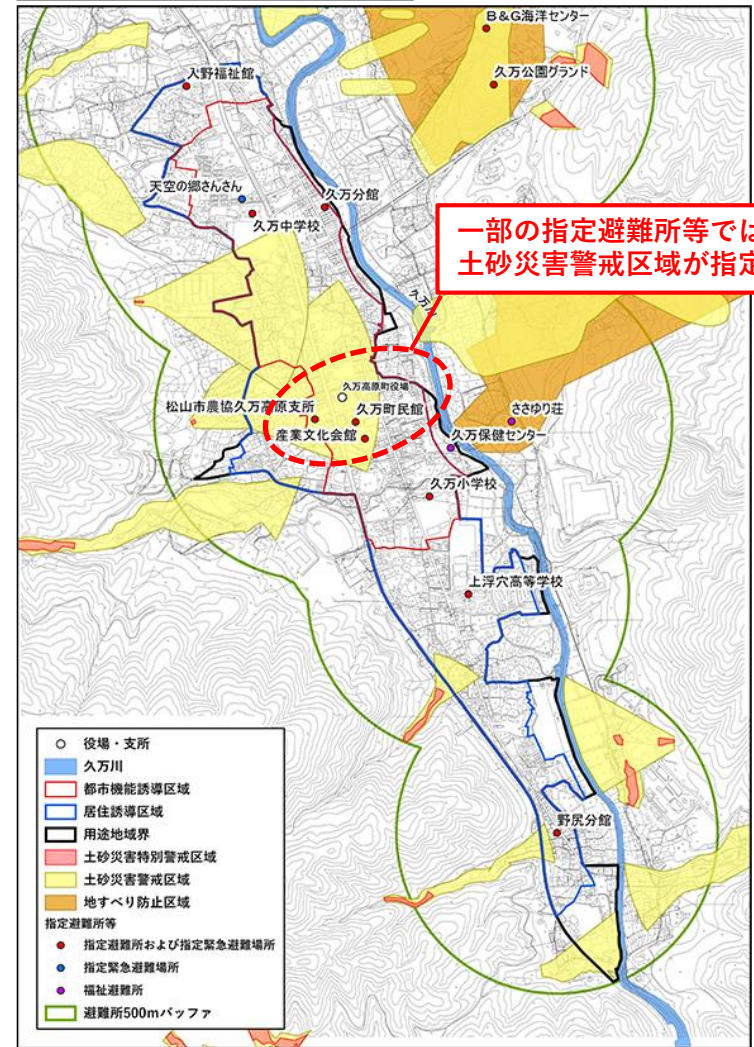
- ・ 誘導区域周辺には土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、地すべり防止区域が該当
 （誘導区域内には、土砂災害警戒区域のみ該当）
- ・ 上記区域は治水事業で対策が実施済みであるが、区域内の大部分が指定されている



土砂災害×人口分布



土砂災害×指定避難所等



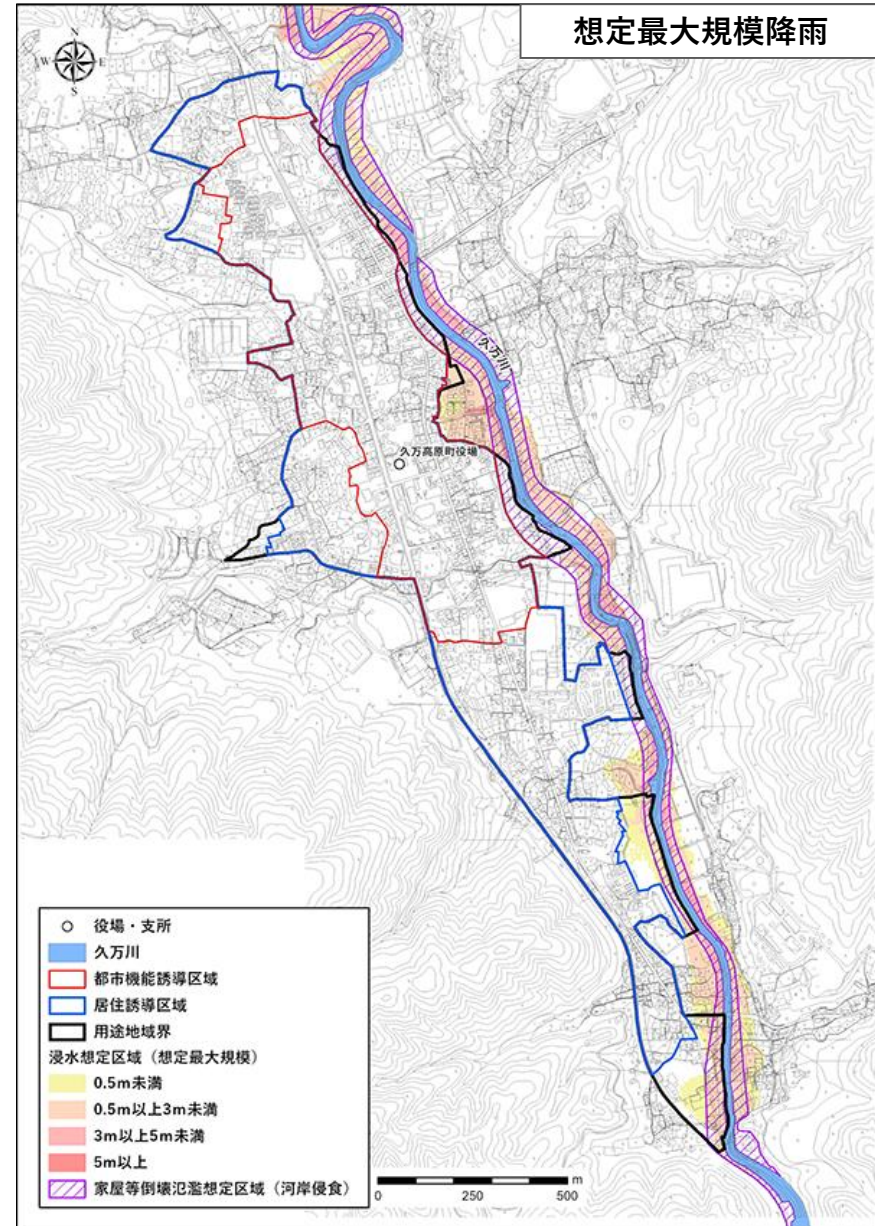
対策（案）

➡ 指定避難所等の機能強化、早期の避難所開設及び避難 指示等のソフト対策の強化 など

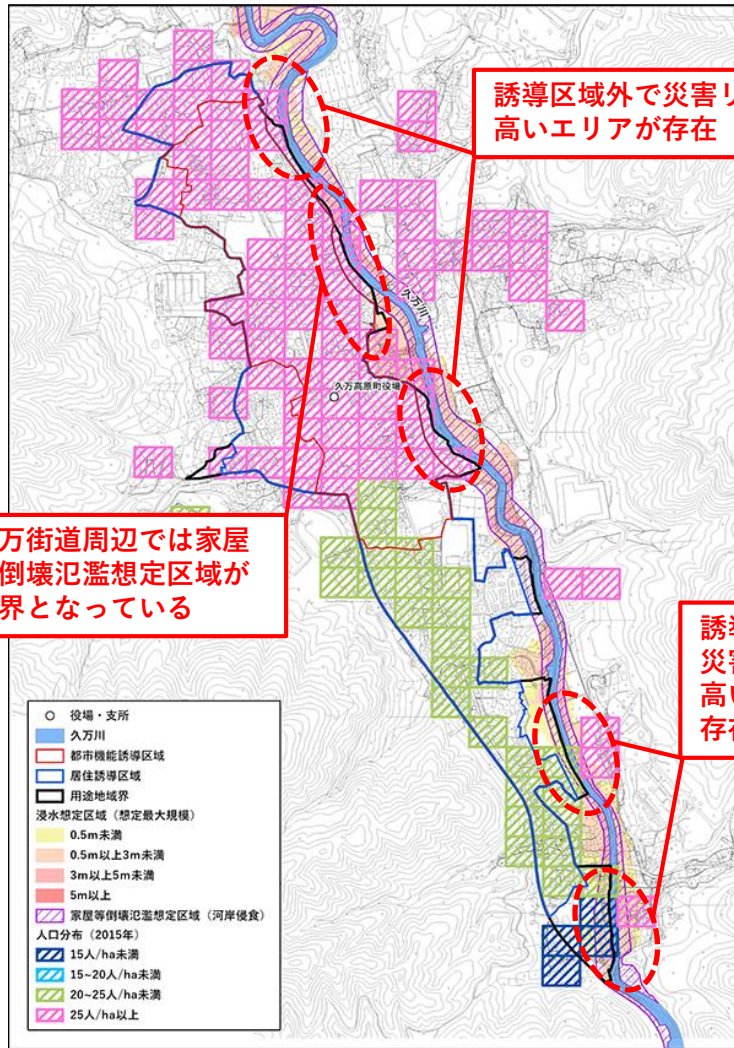
災害種別	災害名称	誘導区域内への指定等の有無
河川浸水	浸水想定区域 ・久万川	×

【災害の特徴】

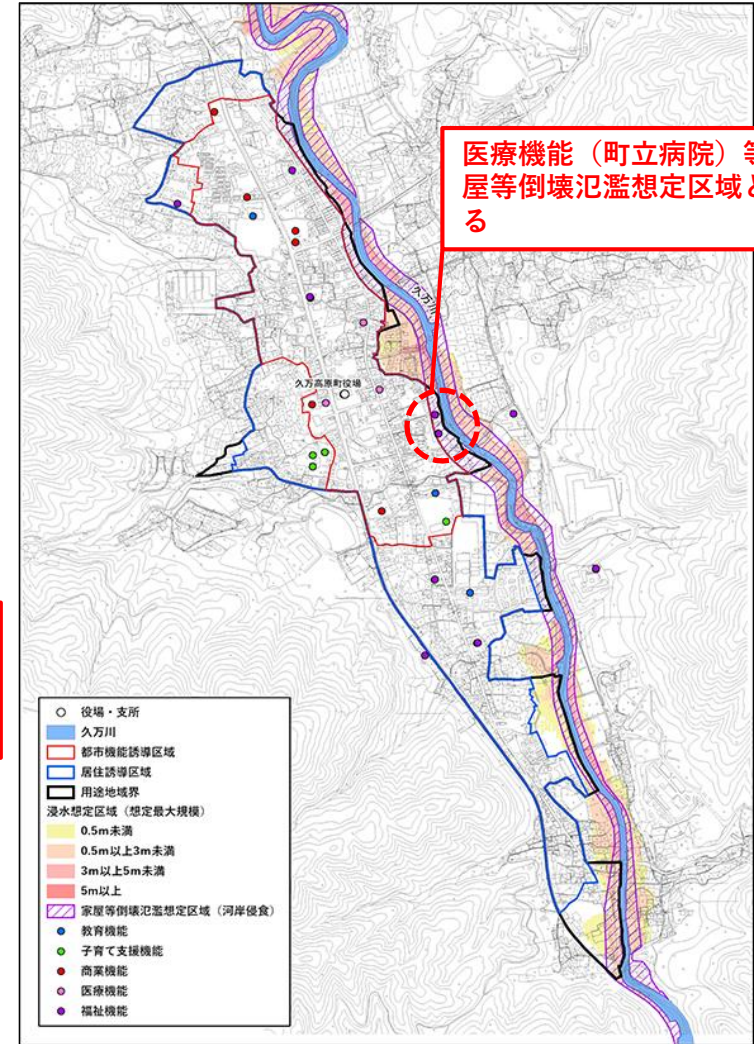
- ・ 想定最大は、想定し得る最大規模の降雨（48時間の総雨量904mm）に伴う洪水により、久万川が氾濫した場合の浸水の状況
- ・ 家屋倒壊等氾濫想定区域は、最大規模の降雨に伴う洪水により久万川の河岸侵食幅を想定したもの
- ・ いずれも誘導区域内には該当なしである一方、区域界となっている箇所がある



河川浸水×人口分布



河川浸水×都市機能

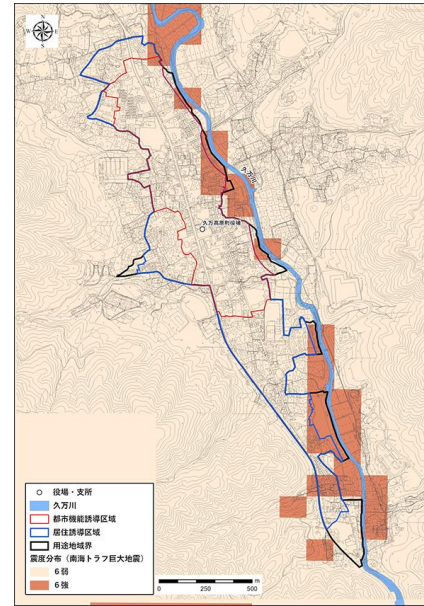


対策（案） 早期の避難所開設及び避難指示等のソフト対策の強化、誘導区域内への移転促進、町立病院等の誘導区内への移転集約 など

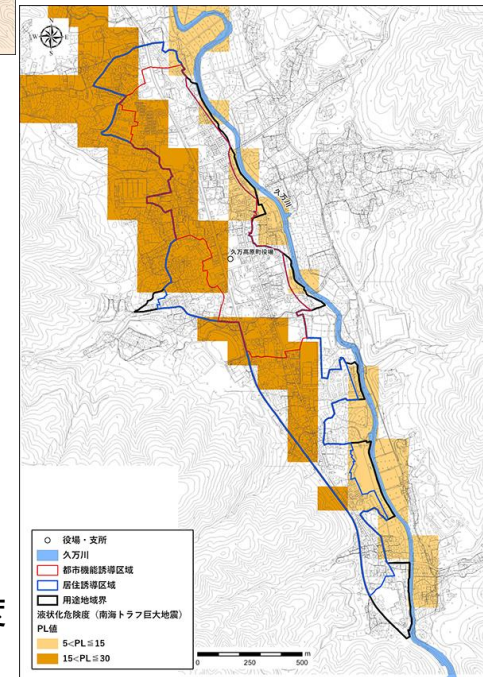
災害種別	災害名称	誘導区域内への指定等の有無
地震	震度分布	○
	液状化危険度	○

【災害の特徴】

- ・南海トラフ巨大地震が発生した場合、久万高原町では最大震度6強が想定
- ・液状化とは、地下水を豊富に含んだ砂質地盤が、地震動によって高くなった地下水圧により、液体のように緩んで動く現象で建物や土木構造物の転倒、沈下、傾斜につながる
- ・液状化危険度をみると、誘導区域の西部から南部にかけて、また久万川沿いで比較的高い

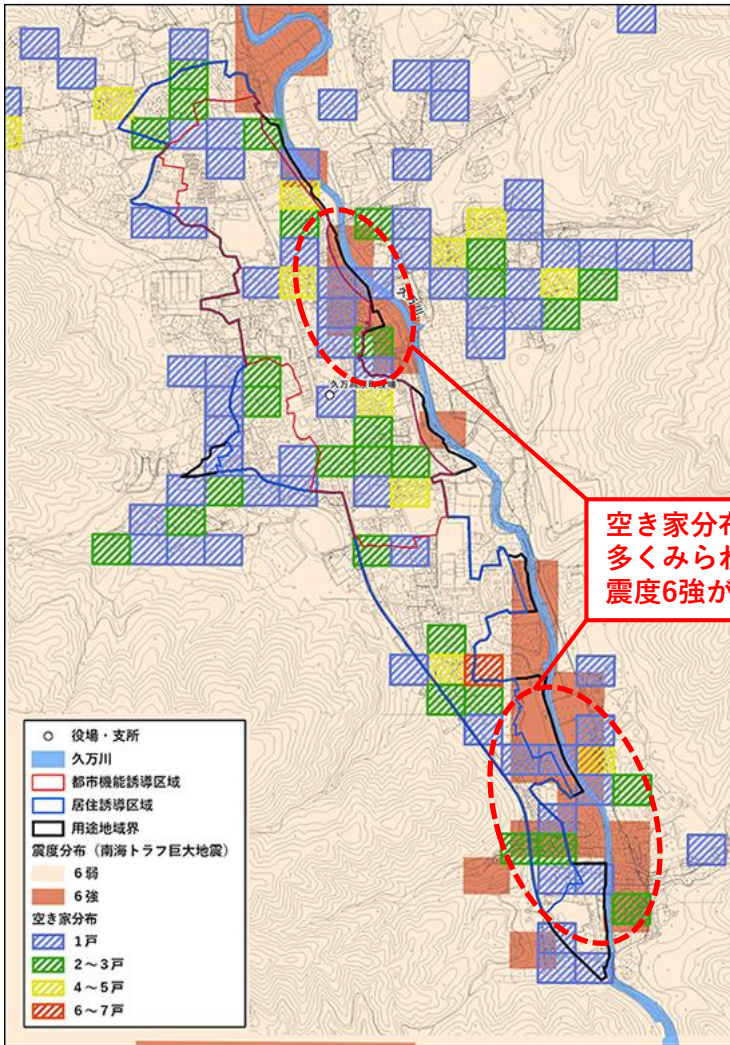


震度分布
(南海トラフ巨大地震)



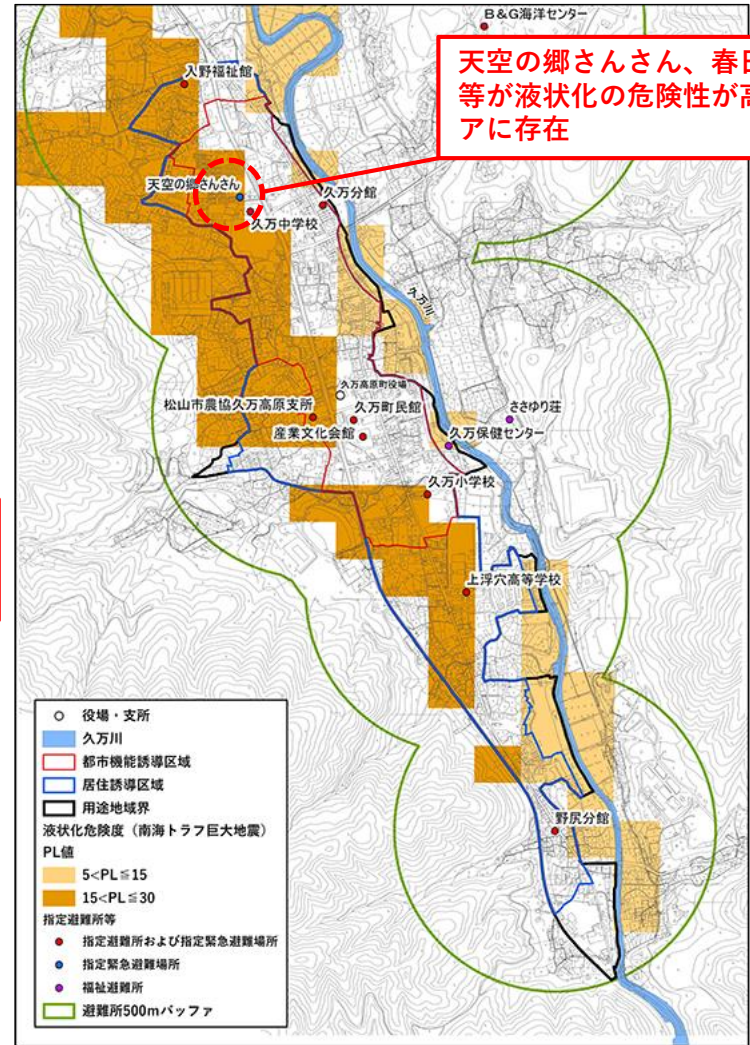
液状化危険度
(南海トラフ巨大地震)

震度分布×空き家分布



空き家分布が比較的
多くみられるエリアで
震度6強が想定

液状化危険度×指定避難所等



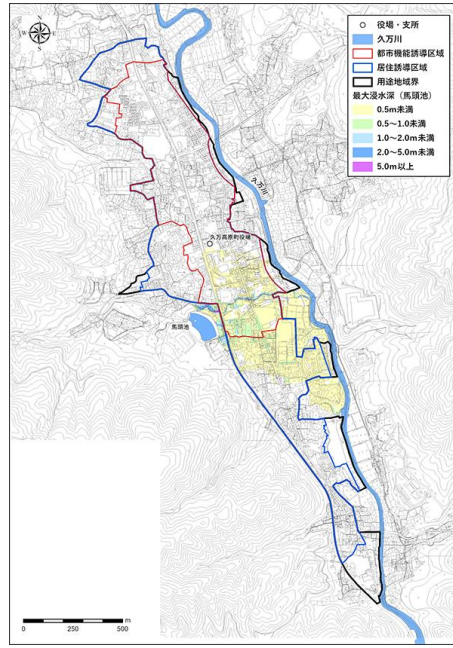
天空の郷さんさん、春日台住宅
等が液状化の危険性が高いエリ
アに存在

対策（案）
 防災道の駅（天空の郷さんさん）の機能強化及び備蓄品の充実、春日台住宅の建替えによる耐震化
 管理不全な空き家等への対策 など

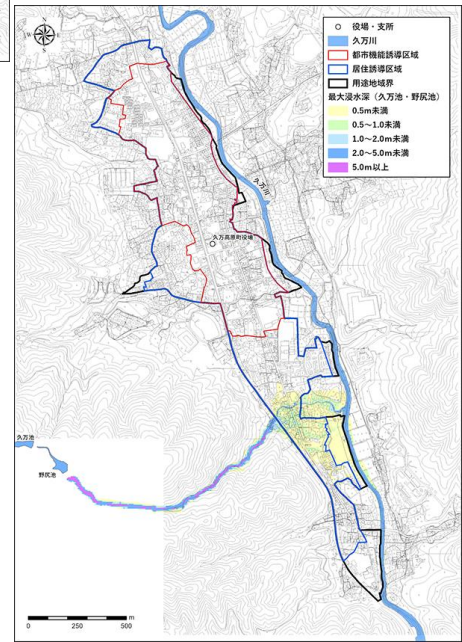
災害種別	災害名称	誘導区域内への指定等の有無
ため池	ため池浸水想定区域 ・野尻池・久万池 ・馬頭池	○

【災害の特徴】

- ・ 県が指定する防災重点ため池のうち、誘導区域内に影響を及ぼす馬頭池、久万池・野尻池について分析を行う
- ・ いずれのため池も、市街地の広範囲に浸水範囲が想定されているが、浸水深は0.5m未満が大半を占める

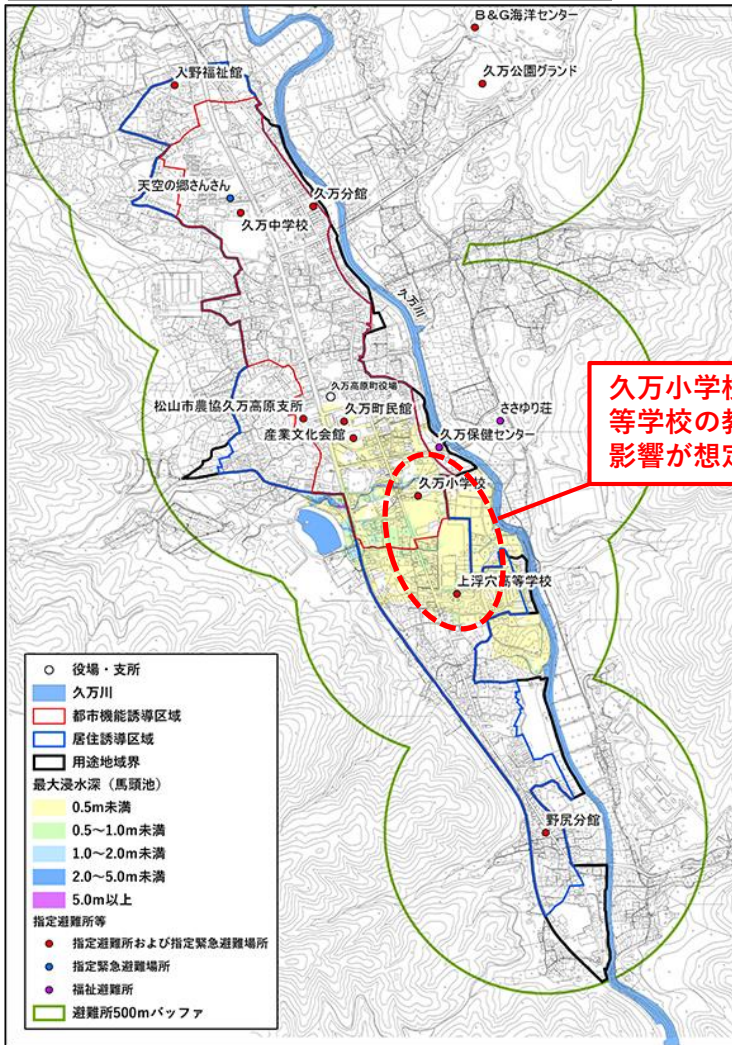


最大浸水深（馬頭池）



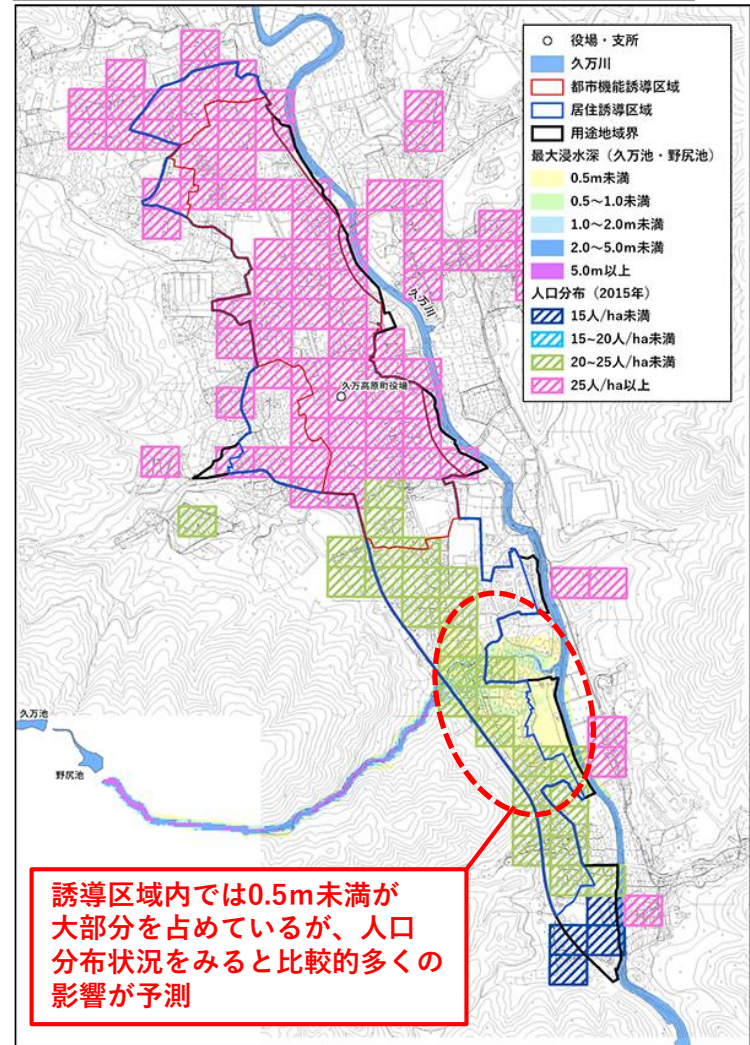
最大浸水深
（久万池・野尻池）

ため池浸水（馬頭池）×指定避難所等



久万小学校や上浮穴高等学校の教育機能等に
影響が想定

ため池浸水（久万池・野尻池）×人口分布



誘導区域内では0.5m未満が
大部分を占めているが、人口
分布状況を見ると比較的多くの
影響が予測

対策（案）



ため池ハザードマップによる周知、避難路の確保及び避難訓練の実施 など

・以上の分析を取りまとめた結果は以下のとおり（参考資料3参照）

（5）課題の整理および取組の方針（案）

災害リスクの分析を踏まえ、久万高原町における防災に関する課題の整理および取組方針をとりまとめると、以下のとおりとなります。

【対象】 天空の郷さんさん周辺地区 (地震)

【課題】 液状化危険性の高いエリアが存在している

【取組（案）】	【主体】	【実施時期】
①防災道の駅の機能強化及び備蓄品の充実	町	短期
②春日台住宅の建替えによる耐震化	町	短～中期

【対象】 久万商店街周辺地区 (河川)

【課題】 誘導区域の周辺に河岸侵食エリアが存在している

【取組（案）】	【主体】	【実施時期】
①早期の避難所開設及び避難指示等のソフト対策の強化	町	継続実施
②誘導区域内への移転促進	町	中～長期

【対象】 久万高原町役場周辺地区 (土砂)

【課題】 誘導区域の中心部に土砂災害警戒区域が指定されている

【取組（案）】	【主体】	【実施時期】
①土砂災害防止のための基盤整備	県	検討
②公共施設の土砂災害防止対策（移転含む）	町	検討
③指定避難所等の機能強化	町	継続実施
④早期の避難所開設及び避難指示等のソフト対策の強化	町	継続実施

【対象】 町立病院等周辺地区 (河川)

【課題】 医療・介護福祉機能が河岸侵食エリアと重複している

【取組（案）】	【主体】	【実施時期】
①町立病院等の誘導区域内への移転集約	町	短期

【対象】 上野尻地区 (ため池)

【課題】 広範囲でため池による浸水が想定されている

【取組（案）】	【主体】	【実施時期】
①ため池ハザードマップによる周知	町	継続実施
②避難路の確保及び避難訓練の実施	町/住民	継続実施
③建築物の浸水対策（地区計画制度の活用）	町	検討

【対象】 全町的な取組（誘導区域外も含む）

【課題】 災害リスクの回避

【取組】	【主体】	【実施時期】
①防災ハザードマップ・災害エリアを示した看板の設置等による災害情報の周知	町	短期
②届出による誘導区域への立地誘導	町	継続実施
③災害ハザードエリアにおける開発許可基準の強化	町	継続実施
④災害ハザードエリアからの移転促進	町	検討

【対象】 全町的な取組（誘導区域外も含む）

【課題】 防災・減災対策の強化

【取組】	【主体】	【実施時期】
①避難路・緊急輸送道路の整備	国/県/町	継続実施
②指定避難場所等の機能強化	町	継続実施
③建築物の耐震化・不燃化の促進	町	継続実施
④公共下水道の普及	町	継続実施
⑤農地等の保全による雨水流出抑制	町	継続実施
⑥空き家等の発生抑制・適正管理	町	継続実施
⑦管理不全な空き家等への対策	町	継続実施
⑧砂防・急傾斜地・地すべり等の防災対策工事	県/町	継続実施
⑨河川氾濫防止のための河川改修	県/町	継続実施

【対象】 全町的な取組（誘導区域外も含む）

【課題】 防災体制の構築・拡充

【取組】	【主体】	【実施時期】
①自主防災組織の育成・再編成・自衛体制の充実	町/住民	短期
②指定避難場所の避難所運営マニュアルの作成	町/住民	短～長期
③防災訓練等の実施	町/住民	継続実施
④BCP・事前復興計画の策定	町/住民	継続実施
⑤防災士の育成、自主防災組織への位置づけ	町/住民	継続実施

資料：愛媛県地震被害想定調査結果、えひめ土砂災害情報マップ、愛媛県河川課、庁内資料

課題の整理・取組の方針（2/2）

主な対象	種別	具体的な取組	実施主体	実施期間		
				短期 （～5年）	中期 （～10年）	長期 （～20年）
天空の郷さんさん・町営住宅周辺地区	地震	防災道の駅の機能強化及び備蓄品の充実	町	→		
		春日台住宅の建替えによる耐震化	町	→	→	
久万街道周辺地区	河川浸水	早期の避難所開設及び避難指示等のソフト対策の強化	県	→	→	→
		誘導区域内への移転促進	町		→	→
久万高原町役場周辺地区	土砂災害	土砂災害防止のための基盤整備	県		(検討)	
		公共施設の土砂災害防止対策（移転含む）	町		(検討)	
		指定緊急避難所等の機能強化	町/事業者	→	→	→
		早期の避難所開設及び避難指示等のソフト対策の強化		→	→	→
町立病院等周辺地区	河川浸水	町立病院等の誘導区域内への移転集約	町	→		
上野尻地区	ため池浸水	ため池ハザードマップによる周知	町/住民	→	→	→
		避難路の確保及び避難訓練の実施	町/住民	→	→	→
		建築物の浸水対策（地区計画制度の活用）	町/住民		(検討)	
全町的な取組	災害リスクの回避	防災ハザードマップ・災害エリアを示した看板の設置等による災害情報の周知	町/住民	→		
		届出による誘導区域への立地誘導	町	→	→	→
		災害ハザードエリアにおける開発許可基準の強化	町	→	→	→
		災害ハザードエリアからの移転促進	町		(検討)	
	防災・減災対策の強化	避難路・緊急輸送道路の整備	県/町	→	→	→
		避難場所等の機能強化	町	→	→	→
		建物の耐震化・不燃化の促進	町	→	→	→
		公共下水道の普及	町	→	→	→
		農地等の保全による雨水流出抑制	町	→	→	→
		空き家等の発生抑制・適正管理	町	→	→	→
		管理不全な空き家等への対策	町	→	→	→
		砂防・急傾斜地・地すべり等の防災対策工事	県/町	→	→	→
	河川氾濫防止のための河川改修	県/町	→	→	→	
	防災体制の構築・拡充	自主防災組織の育成・再編成・自衛体制の充実	町/住民	→		
		指定避難場所の避難所運営マニュアルの作成	町/住民/事業者	→	→	→
		防災訓練等の実施	町/住民	→	→	→
BCP・事前復興計画の策定		町/住民	→	→	→	
防災士の育成、自主防災組織への位置づけ		町/住民	→	→	→	